

先生各位

No. 25-06  
2025年1月

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
このたび下記の検査項目につきまして、検査内容変更のご案内をさせていただきます。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承の程よりしくお願い申し上げます。  
謹白

## 記

- 変更実施日 2025年4月1日（火）受付分より
- 対象項目

案内書 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	変更後	現
27	3249	トロンビン・ アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)	検体量 (mL)	血漿0.3	血漿0.4
			所要日数	2~3	3~4
			検査方法	ラテックス凝集比濁法	CLEIA法
			報告範囲	1.0未満~120.0以上	0.4未満~120.0以上
			JLAC10コード	2B210-0000-022-062	2B210-0000-022-052
69	4997	レベチラセタム	検体量 (mL)	血清0.3 速やかに遠心	血清0.3
125	1283	PTH（副甲状腺ホルモン） -インタクト	報告範囲	3未満~最終値	1以下~最終値

## &lt;備考&gt;

- ・その他の検査要項に変更はございません。
- ・レベチラセタムは全血で放置すると酵素による分解により、測定値に影響を及ぼす可能性があります。採血後は速やかに遠心分離してください。

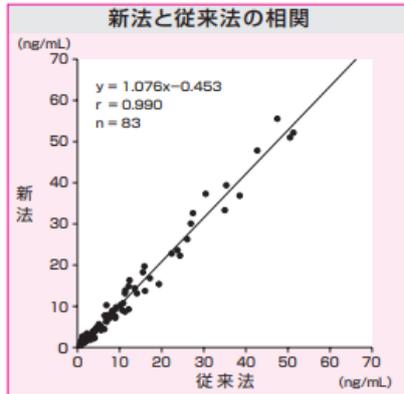
- 変更理由 委託先における変更のため

裏面へ続く

<新旧二法の相関>

●TAT

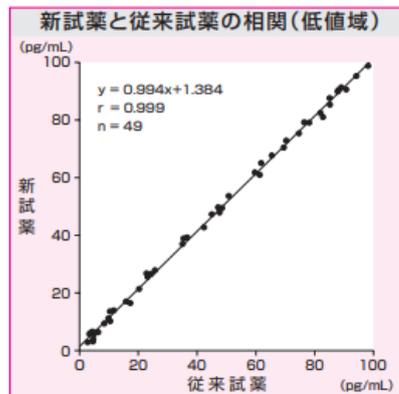
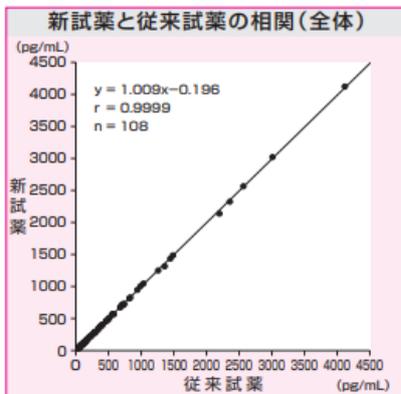
必要検体量低減と所要日数削減を目的として検査方法が変更となります。



委託先資料より

●PTH-インタクト

ビオチン投与による影響を改善した改良試薬への変更に伴い、報告範囲が変更となります。



委託先資料より